

診療予定 カレンダー

受付時間	日	月	火	水	木	金	土
午前9:00～午前12:00 (初診～11:30)	●	●	●	△	●	●	△
午後2:30～午後6:30 (初診～6:00)	●	●	●	△	●	●	△

2010年5月

日	月	火	水	木	金	土
						1 休診
2 休診	3 休診	4 休診	5 休診	6 全日	7 全日	8 休診
9 全日	10 全日	11 全日	12 休診	13 全日	14 全日	15 休診
16 全日	17 全日	18 全日	19 休診	20 全日	21 全日	22 休診
23 全日	24 全日	25 全日	26 休診	27 全日	28 全日	29 休診
30 全日	31 全日					

2日(日)は臨時休診、3日(月)・4日(火)は祝日のため休診です。
1日(土)～5日(水)まで5連休となりますのでご了承ください。

2010年6月

日	月	火	水	木	金	土
		1 全日	2 休診	3 全日	4 全日	5 休診
6 休診	7 全日	8 全日	9 休診	10 全日	11 全日	12 休診
13 全日	14 全日	15 全日	16 休診	17 全日	18 全日	19 休診
20 全日	21 全日	22 全日	23 休診	24 全日	25 全日	26 休診
27 全日	28 全日	29 全日	30 休診			

6日(日)は研修のため臨時休診いたします。ご了承ください。

当院サイト掲載の情報もご利用ください。 <http://www.azusawaseikei.com>

あずさわ通信 第18号

2010年5月1日発行

発行元: あずさわ 医療と癒しの融合

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2丁目36-13
マツエクリニックビル5F・6F

小豆沢整形外科

☎03-5916-4970 📠03-5916-4977

あずさわ通信

第18号
2010年5月1日発行
あずさわ 医療と癒しの融合
小豆沢整形外科

高柴 賢一郎(たかしば けんいちろう)先生 ご紹介

既にご存知の患者さんもいらっしゃるかと思いますが、4月13日より、毎週火曜日の午後(14:30～)の診療を、高柴先生[写真左]にご担当いただいておりますので、ご紹介いたします。

患者様に『診てもらってよかった』という気持ちになっていただけた時に、一番喜びを感じます。お一人お一人の背景まで考え、最適最良の医療のご提供に尽力いたします。皆様、よろしくお願いします。



健康情報

患者様の声 — 浅野悦子さん —

当院にご通院の患者様の声を、平院長との対談でご紹介します。

今回は、文京区にお住まいの浅野悦子さんにお話を伺いました。

(以下、「A」は浅野さん、「T」は平院長の略です。)

T:浅野さん、こんにちは。今日は休診日にわざわざお越しくださり、本当に有難うございます。

A:いいえ、どういたしまして。



T:浅野さんは、振り返れば小豆沢整形外科開院前の、池袋インターシティクリニックで私が院長を

していたときから通院なさっていますから、お会いしたのはかれこれ6年以上前になりますね?

A:そうなりますね。

T:池袋のクリニックに来院なさったきっかけをお聞かせいただけますか?

A:はい。私は高齢の母の世話を続けていたせいか、段々と腰の苦しさを感じまして、池袋東口の本川治療院に長年通院していました。しかし、年を経るにつれて徐々に、腰の苦しさや足のシビ



内面へ続く⇒

健康情報

患者様の声 — 浅野悦子さん —

レが取れなくなってきたので、本川先生から「池袋西口近くに良く診てくれる整形外科の先生が居るので、レントゲンなどの検査をしてもらって、医院の治療も受けられてはどうですか?」と紹介していただいたので、平先生のクリニックを訪ねてみました。

T:そうでしたか。本川先生には私も何度



かご挨拶させていただきましたが、とても謙虚で丁寧な方ですね。若手整体師を多く指導なさり、患者様からの信頼も非常に厚い先生とお聞きしております。池袋では度々患者様をご紹介いただき、大変お世話になりました。

A:池袋のクリニックでは、腰部脊柱管狭窄症の診断で、治療を受けていましたが、平先生がもっと広いクリニックを開院して移転すると知り、楽しみにして小豆沢整形外科に来てみました。

T:有難うございます。浅野さんには、当院開院初日から来ていただいたんですね。顔見知りの患者様に来ていただけたことで、

正直とても嬉しく、励まされた気持ちでした。浅野さんからみて、当院に入った印象はいかがでしたか?

A:はい、中の雰囲気が大変明るくて、職員の皆さんもとても感じが良かったです。

T:恐れ入ります。その後、腰痛と足の苦しさに耐えながら、お母様のお世話などを懸命にこなされていましてね。

A:そうなんです。平先生からブロック注射を受けたりしながら、何とか我慢していたのですが、いよいよ辛くなったので、2008年に思い切って手術を受けることにしました。

T:それは正解だったと私も思います。タイミングも良かったですね。

A:手術を受けて足の痛みは良くなりましたが、今度は腰の苦しさが残り、その改善のために引き続き、小豆沢整形外科に通っていました。そこで平先生から、もっと良くなるようにと「放射線ホルミシス^(※)」をご紹介いただき、巣鴨の



ホルミシスルームに通うようになりましたら、大変体調がよく、元気も出て、痛みも治まってきました。

T:大手術を受けられたのに、最近ますます



若々しく、お顔の色艶よく、いつも活発に活動されていますね。浅野さんは今年68歳でいらっしゃるのに、初対面のときから全然年を重ねた感じがしません。ホルミシス以外に何かなさっていますか?

A:腰の痛みには腰の筋肉の運動が大事とお聞きしていましたが、ホルミシスに通った帰り道に、ジムのカーブスのチラシを見て、早速巣鴨のカーブスに入会し、それ以来、ホルミシスとカーブスにセットで通い、体を鍛えています。症状はまだ確かにありますが、いつまでも痛い痛いと言っていられませんか?

T:ホルミシスとカーブスでの運動習慣。それは素晴らしい組み合わせですね。私も常々思っているんですが、病院通いだけでは健康は作れないんですよ。浅野

さんは持病に負けず、体に良いことは素直に積極的に実践し、しかも継続されています。その生き方が、今のご表情に魅力的なエネルギーとしてあふれ出ています。私たちがむしろお手本にさせていただきたいです。

A:今、家の中の片付け物がいっぱい残っていて、もう少し腰をよくしてこれらを全部キレイに片付けるのが目標なんです。引き続き小豆沢整形さんにはお世話になります。

T:こちらこそ、できるだけのことをお手伝いさせていただきます。今日はありがとうございました。



※放射線ホルミシス

簡単に言うと「低線量の放射線を浴びることによって得られる様々な生体活性効果」のことになります。元々、NASAの宇宙飛行士の健康管理をしていたミズーリ大学の生命学者ラッキー教授(Thomas D. Luckey)が1982年に発表した論文が最初です。現在では、自然放射線の100倍程度までの放射線は、免疫力を高め、ガンを減らし、痛みを和らげ、様々な酵素代謝反応を促進し、細胞を若返らせる効果が確かめられています。